

Partner

[パートナー]

Vol.08
2023.MAR

— 各診療科の医師が専門分野を伝える —

・腎臓内科部長・

佐藤 武志

予防治療から透析・移植まで
腎臓病医療を
トータルに提供



・糖尿病内科部長・

東海 俊史

地域の糖尿病患者の
受け皿となり得る体制を構築



紹介患者様の受診方法について

小山記念病院では、地域の医療機関との連携を充実するために地域医療連携室を設置しています。地域医療連携室では、他の医療機関からの紹介患者様の対応、または患者様のお住いの近隣の医療機関への逆紹介を行っています。

当院は、外来患者様が多く、待ち時間が長くなるため、紹介状持参患者様については、特に事前予約をお勧めしています。

医療機関より、下記にご連絡いただければ、
地域医療連携室にて事前予約をお取りします。

「受診予約申込書」と「診療情報提供書」(様式は問いません)を
事前にFAXをお願いいたします。

《地域医療連携室直通 医療機関専用ダイヤル》
TEL.0299-85-1133 FAX.0299-88-2211

予約なしで直接ご来院された際は、状況により当日診察をお受けできず、
翌日以降のご予約をお取りさせていただく場合があります。

紹介状持参患者様 予約取得フロー

医療機関より地域医療連携室直通ダイヤルに、連絡をお願いします。

1 受付時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～11:00

TEL.0299-85-1133 (地域医療連携室直通)

2 受診予約申込書と紹介状をFAXで送信してください。

FAX.0299-88-2211 (地域医療連携室直通)

※FAX受信は24時間受付可能ですが、受付時間外の場合、予約取得は翌営業日の返信となります。

3 ・折り返し地域医療連携室より紹介元医療機関へご連絡をいたします。
・予約を取得し診療予約票をFAXにて送信します。
(できる限り15分以内にご連絡します)

※診療科によっては、医師の確認が必要なため時間がかかる場合があります。

4 予約日に、診察予約票と紹介状原本をご持参いただき、
11番「紹介状窓口」にご来院していただきますよう、
ご案内をお願いいたします。

緊急の場合は、下記の医療機関専用ダイヤルへご連絡ください。

- ・脳神経外科ホットライン 080-8815-5322 (24時間対応)
 - ・循環器科ホットライン 080-1078-6668 (24時間対応)
 - ・整形外科ホットライン 080-9159-6089 (月～土/8:00～20:00 迄) 日・祝を除く
 - ・放射線科 0299-85-1173 (画像検査科直通)*
 - ・上記以外の診療科 0299-85-1133 (地域医療連携室直通)*
- ※月～金/9:00～16:00、土/9:00～11:00 日・祝を除く

各科緊急連絡先





・糖尿病内科部長・

東海 俊史

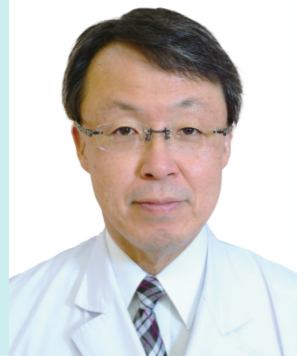
日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

ピックアップドクター

Pick up Dr.



各診療科の医師が専門分野を伝える



・腎臓内科部長・

佐藤 武志

● 予防治療から透析・移植まで腎臓病医療をトータルに提供

▶ 幅広く腎臓病を診療しています

当院腎臓内科外来は常勤医2名、非常勤医1名にて診療を行っています。主に取り扱う疾患としては慢性腎不全、急性腎不全、急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、IgA腎症、多発性のう胞腎、痛風腎、尿たんばく陽性、クレアチニン高値等になっています。

ご存じの通り腎臓病のほとんどが一度かかってしまうと治らず、徐々に進行し、最終的に人工透析となってしまう。当科では腎臓病の進行を緩やかにするために、生活習慣の指導・相談等を行っています。透析療法導入前には、患者さん、ご家族と①血液透析、②腹膜透析、③腎移植の療法選択を行います。

また、血液透析導入に伴いシャッ

ト手術も行っています。さらに、当院では筑波大学附属病院と連携し腎移植の専門外来も行っています。この専門外来は完全予約制ですので腎移植の希望がある患者さんがいらっしやいましたらご連絡ください。

▶ 透析センターでは夜間透析にも対応

透析センターには58台の透析装置があります。患者さんの状態により血液透析、オンライン血液透析濾過を行っています。月水金曜日・午前午後夜間の3クール体制でお仕事をお持ちの方のための夜間透析にも対応しています。火木土曜日は午前の1クール体制で稼働しています。当センターでは感染症に対応した隔離透析ができる個室も完備していますので、感染症にて入院中の患者さん

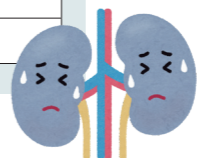
への透析も対応可能となっています。

腎臓内科への受診のタイミングとしていろいろ基準が提唱されていますが、分かりにくい基準が多く、非常に単純化したものをお伝えしたいと思います。

左記の一つでも当てはまる患者さん、腎臓病でお困りの患者さんがいらっしやいましたら、当科へお気軽にご相談、ご紹介していただけますと幸いです。

小山記念病院 腎臓内科の紹介基準

- ①クレアチニン値 2mg/dl 以上
- ②尿蛋白 2+ 以上
- ③浮腫



▶ 一昨年より常勤医が増え紹介患者の受け入れも可能に

小山記念病院の東海です。糖尿病内科部長を拝命しております。当初は内科の一員として糖尿病を中心に診察しておりましたが、日本糖尿病学会の教育関連施設を申請する際に、患者様にわかりやすい診療科名をとの要請があり、糖尿病内科を名乗るようになりました。

わかりやすくなったものの、糖尿病内科を受診される患者様からは、糖尿病内科ではなく内科と表記して欲しいとの要望もあり、診察室には内科と表したり、近年の糖尿病の名称変更の波が私どもの元にも迫っております。

また、これまでは一人部長の状態、外来と術前術後の患者様や妊婦さんの血糖管理に追われ、急な高血糖の患者様をお受けできない状況で

したが、2021年10月より大学から医師の派遣があり、時期により人員が変動いたしますが、私を含め2〜3人の糖尿病内科所属の常勤医がおりますので、ご紹介を受けることが可能となりました。

▶ 病床を有する強みを生かし注射製剤を積極的に導入

近年糖尿病に関する薬剤の進歩は目覚ましいものがあり、DPP-4阻害薬、SGLT-2阻害薬、GLP-1受容体作動薬と新薬が目白押しで、日本糖尿病学会の2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズムによると、肥満の有無、腎臓病や心不全など併存疾患による薬剤の選択が示されております。中でも私たちは病床を有する強みもあり、インスリンやGLP-1受容体作動薬などの注射

製剤を積極的に導入しております。Continuous Subcutaneous Insulin Infusion (CSII)いわゆるインスリンポンプの導入も行っております。

Self Monitoring of Blood Glucose (SMBG)機器も、Abbott社製FreeStyle リブレの導入を開始し、2022年4月からは、これまで採用しておりましたLifeScan社製ワンタッチウルトラビューから、同社製ワンタッチペリオビューに切り替えを行い、半年ほどほぼ完了いたしました。従いまして当院に通院しております患者様は、SMBG機器がこれまでとは異なっておりますので、留意いただければと思います。

これまで糖尿病内科は小山記念病院内に留まっておりましたが、これからは地域の糖尿病患者様の受け皿となり得る体制となりましたのでよろしくお願いたします。

● 地域の糖尿病患者の受け皿となり得る体制を構築